

改革・改善サイクルに係る対応方針

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
地域振興総務課	啓発事業	花と音楽のまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・早急な事業の検証を要する。 ・枚方市魅力発信事業との統合を早く実現するのが良いのではないか？ 	改善	効率的な事業手法を検討し、枚方市魅力発信事業へ統合する。	平成28年度に、「枚方市魅力発信事業」と統合する。	
生涯学習課	施設維持管理	生涯学習市民センター維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度への移行に際し、利用率改善のため、部内他事業の振興利用など幅広い会議室の活用をリードすべき。もし、需要がないなら、他の貸し会議室事業も合わせ市全体で調整すべき。 ・既存施設を前提とするのではなく、全庁的な類似施設の統廃合を検討する必要がある。 	改善	<p>本市の生涯学習市民センターは、美術に関する創作施設を持つ御殿山生涯学習美術センターや、陶芸施設がある菅原生涯学習市民センターなど各施設で特色があり、近隣市の同種施設と比較して、遜色のない利用率であると捉えているが、夜間の利用が少ない状況があり、今後は運営方法のあり方や、一人でも多くの方に利用していただく方策を検討する。</p> <p>施設の統廃合については、現在のセンターは部屋の利用だけでなく、ロビースペースを交流の場として活用されている方、また自治会など地域活動のために印刷室を利用されている方など、先の利用率の数値に表れない実態からも困難と考える。なお、市民の学びや交流の場として様々な人が生涯学習市民センターを安全且つ快適に、地域の活動の拠点として利用していただけるよう、それぞれ特色のあるセンターを維持し、一層の活性化に努めていく。</p>	市民が安全且つ快適に利用いただけるよう、市有建築物保全計画に沿った計画的な改修・修繕を行うことを基本としつつ、各センターの特色に応じた、メリハリのある対応を行う。	二次点検・評価対象事業

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
生涯学習課	施設等運営	生涯学習市民センター学習支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率の目標値が甘すぎるとの指摘をさせていただいたことに対し、新たな目標値を設定していく予定との回答があったが、そもそもセンター自体の数の過剰さも問題なのではないか。今後のセンター保全計画に伴う莫大な経費負担も考えると、やはり、センターの統廃合の検討は早急に検討しておくべきではないか。 ・利用率の低迷に対しては、所管課を超えた部単位での運用(例えば、コワーキングスペースの開設など)といったことを検討してもよいのではないか。 	改善	生涯学習市民センターでは、生涯学習や地域活動等の経験を有する職員を配置し、単に部屋の貸し借りや料金の徴収にとどまらない運営を行っている。また、市民の学びのきっかけとなる機会や場の提供、学びの成果を活用する場の提供、人と人とのつながり・交流を支える場として位置づけている。少子高齢化が進み、豊富な経験をお持ちの高齢者の方がより増えてくる中、こうした方の学びの場・交流や経験を活かす場、さらにこどもの居場所としての役割もあり、多くの市民が気軽に集まれる地域活動の拠点として、さらなる活性化に努めていく。なお、利用率の向上のための他部署を含めた部屋のまとめ貸し等については、公の施設に目的外スペースを取り入れることでもあることから、現在の利用者の利用状況を踏まえながら慎重に検討する考えである。	各施設の利用状況を踏まえ、様々な市民の地域活動の拠点として一層の活性化を図っていくことを基本としながら、施設利用のあり方を検討していく。	二次点検・評価対象事業
文化振興課	育成事業	子ども芸術文化育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・目的と事業内容に齟齬がある 	改善	本事業は補助団体を選定するための事業であるため、子ども芸術文化育成支援補助事業へ統合する。	平成28年度に、「子ども芸術文化育成支援補助事業」と統合する。	
文化振興課	補助金事業(所)	子ども芸術文化育成支援補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一次点検の結果に異論なし 	改善	現在、枚方市文化芸術振興条例に基づく文化芸術振興計画について、文化芸術振興審議会において策定の検討を進めており、条例の基本施策の一つである「子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実」の中で子どもに対する様々な支援について検証を行っていく。	事業申請団体数の向上	

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
産業振興課	施設等運営	地域活性化支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・H25総点検を受け改善に取り組んだことは評価。 ・継続的な運営改善につなげるため、セミナー整理の経過および結果について検証しておくこと。 ・創業数など、事業目的にかなった成果を検討すべき。 	現状のまま継続	今後もセミナーのアンケート調査結果等を踏まえ、毎年検証を行いながら次年度の事業に反映していく。また創業支援により創業した事業者については把握を行っており引き続き創業後のフォローアップを含め支援に取り組んでいく。		
産業振興課	育成事業	地域商工業振興対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業名称が市民にわかりにくいのでは。 ・事業内容の重点化を図り、市民にわかりやすい施策にする。 ・地域の産業振興関連事業について、かなり整理された努力は理解する。それと共に今後は、市内の中小企業事業者の経営・業績の維持、向上や育成など当事業が抱える内容が広範囲にわたる中でもとりわけ力を入れたい内容を絞って、「枚方発信」の有名企業の創出につなげてもらえればと思う。事業名の改称の検討の必要あり。 ・事業目的を再確認し、その達成状況を検証するための指標を示すことは、難しいが必要である。「講演会参加者数」などでは間接的にすぎる。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、地域の商工業振興に資する7つの事業を実施しているが、講演会参加者数のほか、本年度より展示会におけるマッチング数を新たに把握するなど、より効果が検証できるよう見直すとともに、引き続き事業者のニーズ把握を行いながら、事業内容の重点化も含め改善に努めていく。また、商工業振興という目的に沿った事業名称への変更を検討する。 	引き続き、効果検証やニーズ把握を行いながら、その結果を踏まえ、事業内容の整理も含め検討し、商工業振興に資する事業となるよう努めていく。	二次点検・評価対象事業

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
農政課	施設等運営	農業と市民交流事業	・一次点検の方向性に異論なし	改善	入園を希望する市民が多いが、更新が可能なため空き区画が少ない。入園者のマナー違反による近隣等からの苦情など課題も多く、市民ふれあい農園の管理運営方法について委託先であるJA北河内と検討していく。	サービス水準の向上に向けた市民ふれあい農園の管理運営方法の検討	
農政課	育成事業	農業振興事業	・市として農地をどう位置付けているのか、都市利用上・環境上・食育上などトータルで考えるべき	現状のまま継続	「農」は、安全・安心で新鮮な農産物の供給源として、また自然環境の維持や洪水の防止、災害時の避難空間、食育など多面的な機能を有している。そのため、「農」を守り、活かすことを目標に、各事業を実施している。		
農政課	育成事業	新規就農研修事業	・貴市の農業施策への明確な姿勢が見えてこない。	現状のまま継続	本事業は、都市農業と農地を守るために、たとえ少数であっても「業」としての農業を担える人材を育成することを基本的理念としている。そのため、農業の基本的な技術や都市型農業経営ノウハウの習得とともに、地域社会との積極的な連携と経営力の向上を目指している。		
農政課	育成事業	小学生食農体験学習支援事業	・貴市の農業施策への明確な姿勢が見えてこない。	現状のまま継続	各小学校では、バケツでの水稻栽培など様々な方法で食農体験学習を実施している。その中で、市は一定の要件を満たす食農体験学習を支援している。 本事業における食農体験学習を希望している未実施の学校について、実現を図っていく(希望する学校の近隣においての農地確保、指導者とのマッチング等フォローしていく)。		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
農政課	育成事業	農業団体育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の困難さは理解するが、対策的事業では将来への展望と夢がなくなる。本事業は、食育、エコ、自然環境、生態、土地利用などのハブであり、周りに応援団を作ることも考えては。 ・事業名称が市民にわかりにくいのでは。 ・当事業に加え、新規就農研修事業、農業振興事業、小学生食農体験学習支援事業のように農業関連事業が細分化され過ぎていることがかえって中途半端な予算配分になってしまっていて、トータルとして成果が出にくいのではないかと？まず何よりも貴市の目指すべき農業の方向性、visionを明確にすべき。事業名の改称の検討の必要あり。 ・「地域振興部」における成果指標の作成が難しいことは理解できるが、本事業においても、まず枚方市の農業に対するビジョンを明確にしたうえで、それを実現するための目標として適切に設定される必要がある。「農業まつりの参加者数」では間接的にすぎる。 	現状のまま継続	<p>農業・農地を守るため、高齢化する農業者への支援及び後継者の育成など担い手の確保とあわせて、市民ふれあい農園や農業ふれあいツアーなど「農」とのふれあいを促進する取り組みを進め、都市部における農業・農地の大切さや市農業の持つ魅力の発信に努めていく。</p> <p>今後の取り組みについては、ご指摘いただいた点を踏まえ、市民の皆様にはわかりやすい事業名称を検討するとともに、活動指標については、従来の指標に加え、都市農業の振興に向けた活動指標を検討するなど、事業内容を明確にし取り組みを進めていく。</p>		二次点検・評価対象事業